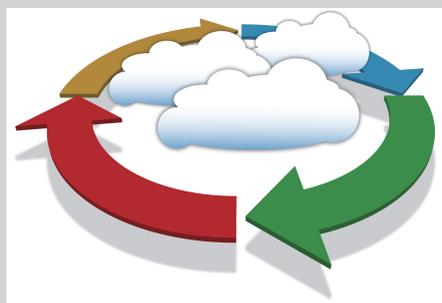


この事例は広報物の制作に関するサンプルです。企業内において、重複した仕事は多数見受けられます。

トータルコーディネートでコスト低減と納期短縮

従来の手法だけにとらわれていては、何も変革はできませんし、何も新しいものは生まれません。ある仕事に対して、デザイン制作から実制作までの全工程のなかで、共有できる部分の情報の有効利用により、無駄な作業を省きます。従来では専門職人しか作業できない部分では、コストの削減や納期の短縮が困難でしたが、その部分を有効な技術を組み合わせた分業により、大幅な合理化と改善化をはかります。



社会のデジタル化が進むなかで、情報のデジタル化も進み、さらには、ネットワークの発達とともに「情報の共有化」がさまざまな分野でおこなわれるようになりました。情報が共有化されることで、これまで、その工程ごとに行っていた作業を省略することが可能となり、コスト削減や納期の短縮化をはかることが可能となります。

● コンテンツ主体の見せ方

WEBの作成もデザイン経験が少ない人でもアプリケーション活用や優れたテンプレートを用いることで、手軽に情報発信が可能になってきました。フェイスブックやLineなどの活用と組み合わせることで、簡単に告知効果生み出すことができるようになりました。

● ワンソース・マルチユース

ひとつのデータ（情報）を複数の目的やメディアで有効利用することを定義した概念的な言葉であったが、今日、情報がデータ化されるようになり、それぞれのメディアに合わせた形式に対応させることで可能となった。

● WEB周辺技術を如何に採り入れるか

WEBの技術は、単なるホームページの制作だけに留まっていません。スマートフォンの世界的な普及に伴い、WEBの技術は世の中の情報のプラットフォームとして、利用されるようになってきました。これによって、物の売り買いの流れだけでなく、世の中のライフスタイルにも影響が生じてきております。クラウド・ビッグデータ・VR・AIなどの技術は、今後、産業革命と呼ばれるような変革を私たちにもたらすことは間違いありません。

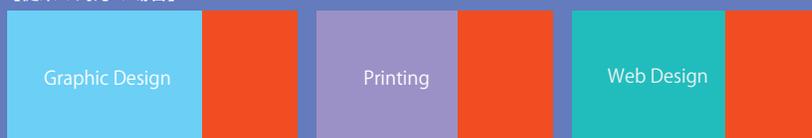
● 真のデザイン設計

色や形やレイアウトなどの見栄えは重要です。ただし、これらは表層的な課題にすぎません。プロジェクトの意義・目的・目標などに基づいて、成果を達成させること。限られた人や予算のなかで、如何に効率良く、持続発展させていくかの「仕組みづくり」を設計すること、グラウンドデザインをめざします。

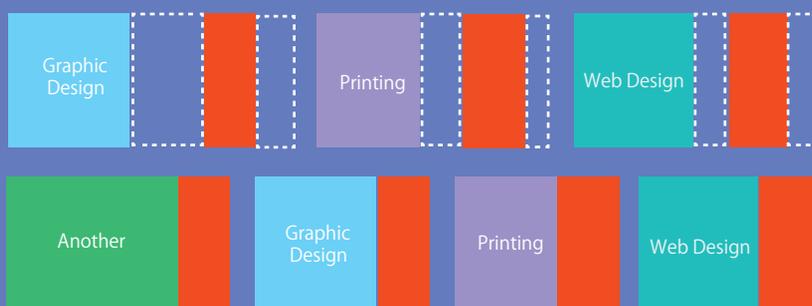
Shortcut

● Graphic Design & Printing ,Web Design , Another

【従来の対応の場合】



【トータルコーディネート対応の場合】



メリット

制作時間

確認・打ち合わせ

- (1) 個々の打ち合わせの時間と労力が削減されます
- (2) 制作におけるパーツの流用等で作業効率が向上します
- (3) 工程全体の納期が短縮され、コストメリットが生じます
- (4) コンセプトが統一され、情報発信の訴求力が高められる
- (5) 周辺企画プラス (Another) で告知効果をアップさせる



● 統一された環境のもとで、情報もアップグレードできます



情報の大幅な更新が発生しても企業イメージや扱う情報イメージも継続安定して利用できます

※上記のメリットを実現させるためには、クライアントの理解と協力が必要となります